放課後児童クラブにおける昼食に関するアンケート調査結果

１．調査の目的

夏休み等の長期休業中における昼食提供について、保護者や地域の方々のニーズを把握し、必要があるかどうか検討するため、大人及び対象児童にアンケート調査を実施しました。

２．調査の概要

Ａ　大人対象アンケート

① 調査方法及び対象

小学校児童の保護者、保育園の保護者、幼稚園（大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園）の保護者、公共施設への掲示（児童センター、温水プール、図書館)、大口町公式LINE

② 調査期間　令和８年１０月７日（水）～１０月２１日（水）

③ 調査方法　ＷＥＢアンケート

④ 回収状況

放課後児童クラブを利用されている保護者	３１０人
放課後児童クラブを利用されていない保護者	１２１人
保育園・幼稚園を利用している方	１３３人
地域住民	２２人
その他	１１人
	計５９７人

Ｂ　児童対象アンケート

① 調査対象

放課後児童クラブへ通っている児童（小１～小６年）

② 調査期間　令和８年１０月１９日（月）～１０月２３日（金）

③ 調査方法　アンケート用紙を配布

④ 回収状況　※（参考）在籍児童数：３８６人　【R8.10.1現在】

南児童クラブ	８４人
北児童クラブ	１４３人
西児童クラブ	１４５人
	計３７２人

３．調査結果

大人アンケート結果

対象児童アンケート結果

自由記述

４．今後の検討課題

大人対象のアンケートにより放課後児童クラブを利用する際の昼食準備に対する負担は大きく、昼食提供のニーズが高いという結果がでました。一方、放課後児童クラブを利用している児童対象のアンケートは、大人のニーズと同じ割合で家庭から持ってくる弁当がよいという結果でした。双方の意見をどのように尊重するかが課題であり、色々な方法を検討していきます。